

古墳時代(3世紀半ば〜7世紀)の人びとは、縄文時代や弥生時代と同様に、武蔵野台地上や荒川低地上の竪穴住居に暮らしていました。

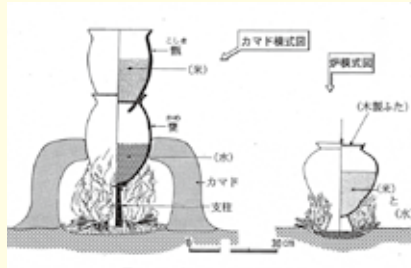
竪穴住居の平面形は方形で、広さは15〜25㎡。4本の柱があり、住居内に炉が設けられていましたが、古墳時代中ごろ(5世紀)からカマド(竈)が設けられるようになりました。

カマドは住居内の壁際に作り付けられ、煙は屋外に排出されました。

カマドで使用する土師器の甑(かま)と甗は、現在の蒸し器に相当します。煮炊きするほかに蒸すことが普及し、餅や糰(もち)蒸米を天日干したものを、酒造りなどの食文化や祭祀などにも広く影響を与えたと考えられます。



▲古墳時代の土師器(川崎遺跡第2次調査出土)
▼炉とカマドの模式図



カマドは古墳時代以降、近世・近代まで家屋内の主要な施設として各家庭などで広く使用されました。上福岡歴史民俗資料館や福岡河岸記念館でも、近代以降の復元されたカマドを見学することができます。また、川崎遺跡では、古墳時代前期の住居跡を現地に保存しています。

川崎遺跡・古墳時代 住居跡

ACCESS

- 循環ワゴンふじみん号
Aコース
「第3分団前」下車徒歩1分
- ☒ 上福岡歴史民俗資料館
(TEL)261・6065



■ 今月号の主な内容 ■

P.2 ▶

【特集】

- ① 新型コロナウイルス感染症 関連情報
- ② 県内初 緑内障検診の費用 補助スタート

P.8 ▶

【トピックス】

- 令和元年度予算執行状況・ 財政状況を公表します
- ふじみ野市消防団の団員を 募集しています
- 消防団応援
- テイクアウト実施店舗をご 利用ください
- 本格的な大雨シーズン到来

P.12 ▶

【ベビーとキッズ】

P.15 ▶

【学びの掲示板】

P.18 ▶

【シニアライフ】

P.19 ▶

【情報アクセス】

P.25 ▶

【ふじみ野写真館】

【読者のひろば】

P.26 ▶

【各種相談】

P.27 ▶

【救急メモ】

【新型コロナウイルス感染症 相談窓口】

裏表紙 ▶

【歴史さんぽ】

今月の「ふじみんのいいとこ探し」は、新型コロナウイルス感染症感染予防のため取材を自粛し、休載いたします。

市役所案内

ふじみ野市役所

ホームページアドレス <https://www.city.fujimino.saitama.jp>

〒356・8501 埼玉県ふじみ野市福岡1・1・1 TEL 049・261・2611 FAX 049・266・6245

ふじみ野市大井総合支所

〒356・8555 埼玉県ふじみ野市大井中央1・1・1 TEL 049・261・2811 FAX 049・266・6271

ふじみ野市役所出張所

ふじみ野市サービスセンター 2階

〒356・0006 埼玉県ふじみ野市霞ヶ丘1・2・7 TEL 049・261・0353 FAX 049・261・0785

2020(令和2)年6月号
市報ふじみ野 No.177
令和2年6月1日発行

【発行】ふじみ野市役所 TEL 049・261・2611

人の動き

令和2年
5月1日 現在

人 □▶114,592人(前月比+115)
男=56,934人(前月比+79)
女=57,658(前月比+36)

世帯数▶52,876世帯(前月比+221)



印刷：株式会社櫻井印刷所